

「丸山コレクション 西アジア遊牧民の染織 ～塩袋と旅するじゅうたん～」

たばこと塩の博物館（東京・墨田区）で

2017年1月21日（土）～4月9日（日）開催！

すべて初公開！遊牧民染織品の一大コレクションから、絨毯、キリム、塩袋など約70点を展示

たばこと塩の博物館では、2017年1月21日（土）から4月9日（日）まで、「丸山コレクション 西アジア遊牧民の染織 ～塩袋と旅するじゅうたん～」を開催します。

イランを中心とした西アジア地域に展開するバルーチ族やカシュガイ族、クルド族などの遊牧民たちは、旅を前提とした遊牧の暮らしの中で、絨毯（じゅうたん）やキリム、塩袋などの染織品を織り、使用・伝承してきました。絨毯は、暖をとるためにテントの下に敷いたり、キリムは室内の間仕切りや装飾に使うなど、これらの染織品は遊牧民の生活になくてはならないものです。また、塩袋は家畜の群れの活動をコントロールするための塩を入れるものです。私たちには馴染みのない生活用具ですが、各部族を象徴する文様を織り込んだ羊毛織りの塩袋は、精緻な文様をもつ染織品としての魅力だけでなく、ユニークな凸型の姿も、見る者を楽しませてくれます。

今回展示する「丸山コレクション」は、もはや現地でも入手不可能な百～数十年前の絨毯やキリムを中心に、塩袋や鞍袋、食卓布といった生活用品にまでおよぶ、遊牧民染織品の一大コレクションです。個人の資料であるため通常は公開されていませんが、当館では2008年にも塩袋と生活用袋物を中心とした展覧会を開催しており、好評を博しました。

「丸山コレクション」を紹介する展覧会として第二弾となる本展では、遊牧民ならではの魅力にあふれた絨毯に重心を置き、キリム、塩袋も合わせた全て初公開の作品約70点を展示します。厳しい暮らしの中で一心に織られた染織品としての“美しさ”とその“迫力”に触れていただきます。

【展示の見どころと作品紹介】→ 別紙1へ

【展示関連イベント】→ 別紙2へ

「丸山コレクション 西アジア遊牧民の染織 塩袋と旅するじゅうたん」開催概要

- 名 称 丸山コレクション 西アジア遊牧民の染織 塩袋と旅するじゅうたん
(マルヤマコレクション ニシアジアユウボクミンノセンショク シオブクロトタビスルジュウタン)
- 会 期 2017年1月21日（土）～4月9日（日）
- 会 場 たばこと塩の博物館 2階特別展示室
- 住 所 東京都墨田区横川 1-16-3
(とうきょうスカイツリー駅から徒歩8分)
- 電 話 03-3622-8801 FAX 03-3622-8807
- U R L <https://www.jti.co.jp/Culture/museum/>
- 入 館 料 大人・大学生 300円（150円） 小・中・高校生 100円（50円）
満65才以上の方 150円（100円） ※満65才以上の方は要証明書
*（ ）内は20名以上の団体料金
*この料金の「西アジア遊牧民の染織」展と常設展示をご覧いただけます。
- 開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
- 休 館 日 月曜日（3/20は開館）、3月21日（火）



バルーチ族の塩袋

「西アジア遊牧民の染織」展の中から、一部の作品と見どころをご紹介します。

絨毯

起毛（パイル）のある織物で、主に敷物、ときには寝具としても使用されました。イラン各地の山野で部族ごとの遊牧生活をおくる人々が、自分たちの生活のために織った絨毯を中心に、文様や色むらなど、遊牧民ならではの味わいが感じられる作品を展示します。

Photo. 01



南イラン
カシュガイ・ルリ族
1920 年頃
羊毛
215cm×140cm

カシュガイ系ルリ族は、ベルシャ（イラン）ではもっとも古い遊牧民として知られ、自由で明るく独創的な絨毯を多く産出しました。この絨毯のピンク色は、茜かザクロ皮で染められていて、大変めずらしいものです。

Photo. 02



南イラン
アラブ族（ハムセ連合）
1900 年頃
羊毛
228cm×172cm

遊牧民の象徴ともいえる絨毯です。移動生活の中では、家畜に積むことのできる織り機（水平機）の巾は肩幅くらいに制約されるため、肩幅くらいに仕上がった二枚の織物を最後に合体し、一枚にしています。

Photo. 03



南イラン
カシュガイ・ルリ族
1930 年頃
羊毛
238cm×155cm

遊牧民の織物に見られる色むらは、移動しながら織る中で、途中で色糸が変わったためとも、同じ部族の別のグループから近い色を調達したためともいわれます。経年により色合いは微妙に変化しますが、そのことがまた、天然染料ならではの絶妙な味わいを生み出します。それがこの作品にはよく現れています。

Photo. 04



西イラン
ルリ族
1880 年頃
羊毛
182cm×110cm

ルリ族の古い絨毯には、織り手の創作ではなく、古来から伝承された部族文様が織り込まれているものが多いです。遊牧エリアの奥地では彩色も少なめで、これはその代表的な絨毯です。自家用のサイズで、丁寧に織られています。

キリム（平織物）

キリムとは、トルコ語で毛足の無い平織物のことをいいます。敷物のほかに、室内の間仕切り、覆い布としても使われました。展示では、遊牧民ならではの天然染料の色合いや、独特の意匠を味わえる作品をご紹介します。

Photo. 05



南イラン
カシュガイ族(ファース)
1940 年頃
羊毛
285cm×156cm

遊牧民キリムの代表作といえるもの。中央の三つの大きなメダリオンや、ボーダーの意匠など、全て彼らが誇りにしている、古来からの伝承文様で埋めつくされています。

Photo. 06



北西イラン
シャーサバン族
1920 年頃
羊毛・木綿
238cm×127cm

ベルシャ(イラン)北部に遊牧したシャーサバン族の古いキリム。シャーサバン族は現在、ほぼ遊牧を終えた定住部族となっていますが、秀でたキリムや袋物を作ることで知られています。

塩袋（ナマクダン）

イランではナマクダンとよばれる、塩を入れておくための専用の袋で、家畜が頭を入れないように、開口部を狭くした凸形をしています。持ち主がすぐわかるよう、特徴的な文様が織り込まれ、ふさ飾りのついた愛らしい姿は見るだけでも楽しめるものです。当館では、塩による家畜群のコントロールという重要な役割を担った生活用具としても注目しています。

Photo. 07



東イラン(ザボール)
バルーチ族
1920 年頃
羊毛
32cm×21cm

この塩袋は小ぶりで、珍しいものです。作られてから 100 年の歳月を経てもそのままの姿で残されており、ふさも整っています。大切に伝承されてきたことが窺えます。

Photo. 08



東イラン
バルーチ・トルクメン族
1930 年頃
羊毛
54cm×33cm

かつて、イラン東部のアフガニスタンやパキスタンと隣接する広大なシスタン・バルチスタン地方に遊牧したバルーチ・トルクメン族。この部族の塩袋の良品はめずらしく、騎馬民族であった部族の昔日の姿が偲ばれる作品です。

画像データの用意がございます。掲載していただけるようでしたら、同封の返信用シートをご返送いただくか、画像の番号を下記までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：褰地（ほろち） TEL 03-3622-8801 E-mail: horochi@tsmuseum.jp

返信用シート

(「西アジア遊牧民の染織」画像希望)

たばこと塩の博物館 広報担当 褰地宛

FAX: 03-3622-8807

E-mail: horochi@tsmuseum.jp

「西アジア遊牧民の染織」展プレスリリースに掲載している画像8点を広報素材としてご提供します。必要事項をご記入のうえ、FAX かメールでご返送いただければ、ご希望の画像(jpeg)をメールでお送りします。

■広報用画像

チェック欄	画像 No	作品名	掲載時のクレジット
☐	Photo.01	絨毯	南イラン カシュガイ・ルリ族 1920 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.02	絨毯	南イラン アラブ族 (ハムセ連合) 1900 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.03	絨毯	南イラン カシュガイ・ルリ族 1930 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.04	絨毯	西イラン ルリ族 1880 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.05	キリム	南イラン カシュガイ族 (ファース) 1940 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.06	キリム	北西イラン シャーサバン族 1920 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.07	塩袋	東イラン (ザポール) バルーチ族 1920 年頃 ©丸山コレクション
☐	Photo.08	塩袋	東イラン バルーチ・トルクメン族 1930 年頃 ©丸山コレクション

※ 紹介記事、展覧会名または文中に「丸山コレクション」を入れていただける場合は、「©丸山コレクション」のクレジットは不要です。

■貴媒体について

貴社名	ご担当者名
ご連絡先 TEL : FAX :	e-mail
媒体名 :	掲載予定日 (号) :

【展示関連講演会】 定員：90名 当日整理券制

2017 年 1 月 28 日（土）

「遊牧民絨毯を巡る旅 ―絨毯とともに30年―」

講師：丸山繁（ギャラリーササーン代表）

2017 年 2 月 11 日（土・祝）

「塩袋を通して広がる世界」

講師：高梨浩樹（たばこと塩の博物館主任学芸員）

2017 年 3 月 18 日（土）

「絨毯にみる地域性と特徴 ―遊牧民絨毯と都市の絨毯―」

講師：丸山繁（ギャラリーササーン代表）

2017 年 3 月 25 日（土）

「対談―塩袋と絨毯の魅力あれこれ―」

講師：丸山繁（ギャラリーササーン代表）

高梨浩樹（たばこと塩の博物館主任学芸員）

【映画会】 定員：90 名 当日整理券制

2017 年 2 月 26 日（日）・3 月 4 日（土）

「ボーダレス ぼくの船の国境線」

アミルホセイン・アスガリ監督（2014年/イラン/102分）

2017 年 3 月 11 日（土）・3 月 12 日（日）

「ひとにぎりの塩」

石井かほり監督（2011年/日本/73分） *上映後、監督によるトークあり

※ 展示関連講演会、映画会は、いずれも午後 2 時から、3 階視聴覚ホールで開催。

※ 参加には、常設展のみご覧いただける入館料（一般・大学生 100 円／満 65 歳以上・小中高生 50 円）、または「西アジア遊牧民の染織」展観覧料が必要です。

※ 当日開館時より整理券を1名につき2枚まで配布します（配布時に人数分の入館料または本展観覧料をいただきます）。